

## NTT 東日本関東病院を受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題「転倒超高リスク患者さんにおける、超低床ベッドの転倒予防効果に関する研究」（審査番号 東総医関 000200013995-01）

### 1. 研究の対象

当院に入院され、転倒超高リスクと評価された全ての患者さん。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的：

院内入院患者の転倒は本来避けるべき事態ですが、残念ながら当院も含めて防ぎきれていないのが現状です。超高齢社会を迎えた本邦にて、その対策を進めることは必須ですが、現段階で予防に関して根本的な解決策は見出されていません。

過去に当院では転倒超高リスク患者さん（立ち上がり時に医療スタッフの付き添いが必要と判断される患者さん）へ重点的に対応をすることで転倒率減少に一定の効果を得ることができました。今回の調査の目的は、超高リスク患者さんの入院中転倒リスクをさらに軽減するために、使用するベッドによる転倒転落率への影響を明らかにすることです。

研究方法：

入院後、一部の患者さんには超低床ベッドと言われる、当院で一般的に用いられているよりも低く調整できるベッドで療養いただきます。入院期間中にベッド周囲で生じてしまった転倒、転落などの発生率が使用するベッドで異なるかどうかを、後日比較、検討させていただきます。

超低床（床から約 30cm）にすることで、転倒超高リスク患者さんが、一人では立ち上がりづらくなるのではないかと考えています。ベッドの高さは可変式であり、病棟スタッフや面会のご家族の皆様が見守りできる状況では通常のベッドの高さで療養いただきます。

現時点ではベッドの転倒に対する予防効果は不明であり、使用の有無に関しては治療状況を踏まえ、当院スタッフの判断となります。

研究期間：承認日～2026 年 3 月 31 日

この研究は、NTT 東日本関東病院倫理委員会の承認を受け、NTT 東日本関東病院長の判断で実施するものです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：患者 ID、名前、年齢、性別、入院時主病名、診療科、入院中治療歴（手術、内視鏡手術、血管内手術、化学療法など）、Morse Fall Scale（当院で用いている転倒リスクスコア）、転倒歴

### 4. 外部への試料・情報の提供

本研究において集められた情報は匿名化されたうえで解析に適した形にまとめられ、共同研究者によって解析されることがあります。データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。

### 5. 研究組織【研究機関名及び研究責任者氏名】

研究機関：NTT 東日本関東病院 医療安全管理室

研究責任者：病院長 大江隆史 担当業務：計画立案、分析

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

療養中の患者さんで、超低床ベッド利用を「希望する」、「拒否する」、などのご意見がある場合は病棟スタッフにお声かけください。医学的状況を踏まえて利用に関して適宜検討させていただきます。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの 代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、診療を受けた年の年度末（3月31日）までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、あなたの氏名等の個人情報が明らかにならないようにしたうえで、学会発表 や学術雑誌等で公表します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては お問合せがあれば開示いたしますので、下記までご連絡ください。

この研究に関連して、あなたへの謝金はございません。

この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽 に下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究連絡担当者：森崎 裕 / morizaki yutaka

所在地：〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22

実施機関名：NTT 東日本関東病院

電話番号：03-3448-6111（代表）